

## 構音訓練セミナー

- 講師 : 志賀 美代子 (倉重こどもクリニック 言語聴覚士)  
: 藤野 泰子 (倉重こどもクリニック 言語聴覚士)  
日時 : 7月30日 9:00~10:30  
定員 : 30名  
会場 : 314号室

小児科診療所や公的機関の発達相談等に、「発音がはっきりしない」「カメがタメになる」「サ行が言えない」といった、ことばの発音についての相談が寄せられることがあります。おそらく、幼稚園や保育園、あるいは小学校でも、発音が気になる子を見かけることがあると思います。幼児期の場合、成長とともに自然に上手に発音できるようになることもありますが、しばらく経過を見ても、発音が変わらず、聞き取りにくい状況が続いている子どもがいます。そのような場合、子どもが周囲に指摘されたり、聞き返されたりして、悩む場合や嫌な思いをすることもあります。また、周囲の大人が、正しい発音を教えようとして、子どもに言い直しをさせても、発音の仕方が分からないため、上手に発音できずに、却って自分の話し方を否定されているように感じてしまい、逆効果となることも少なくありません。

このような“ことばの音の作り方が習慣化して誤っている状態”を『構音障害』と表現しています。今回の構音訓練セミナーでは、初心者を対象として、構音障害の子どもたちへの、発音の基本的な練習方法を紹介します。

なお、私たちは、3歳以上で、“力行”が上手に発音できない子、そして5歳以上で“サ行”が上手に発音できない子に、訓練を行っております。今回は特に、“力行”と“サ行”の訓練方法を説明する予定です。